

# あなたの本棚



# 新しい本の中から

# 5月

『服捨て』 昼田祥子/講談社/593.5 ㌧

「服捨て」とは、知らず知らずのうちに他人に明け渡した人生を、自分に取り戻す作業そのもの。捨てれば思考が変わり、行動も勝手に変わっていく。自分を解き放ち本当の望みを実現させる「服捨て」メソッドを紹介する。最近着ていない服をクローゼットから出すところからはじめてみませんか。



『伝説の出版社博文館』

堀啓子/筑摩書房/023 ㌧

明治半ばに出現し、たちまち日本出版界を牽引する一大コンツェルンへと発展した出版社・博文館。特に際立った出版物や所縁の人々の人生をなぞりつつ、その革新的なメディア戦術と知られざる文化王国の実像に迫る。

『書店を守れ!』

今村翔吾/祥伝社/024.1 ㌧

どうすれば書店の廃業を減らすことができるのか。直木賞作家であると同時に書店経営者の今村翔吾が、書店を守るために興した新ビジネスから、今後の書店・出版業界はどうなるのか・どうすべきかまでを余すところなく記す。

『<自閉>の哲学』

小倉拓也/講談社/135.5 ㌧

20 世紀に活躍したフランスの哲学者ドゥルーズと精神分析家ガタリイの概念「リトルネロ」をとおして、<自閉>における常同的、反復的な行為を、何を行っているかという観点から哲学的に考え、概念化する。

『たびたび』

さくらももこ/新潮社/290.9 ㌧

ミッフィーちゃんの作者・ブルーナさんに会いに行ったユトレヒト、美しすぎた夏の富良野、大感動&大好きなパリ…。単行本未収録のさくらももこの旅エッセイ、全 11 編を収録。『富士山』連載を書籍化。

『パリ文学風景』

ドミニク・プリス/原書房/293.5 ㌧

歴史ある書店や劇場、パッサージュ、カフェ、作家ゆかりの場所、セーヌ川沿いの古書店、墓地…。“光の都”パリが、どのようにして世界文学の舞台となってきたかを、豊富な写真とともに紹介する。

『家族を守る法律知識』

高野浩樹/ベストブック/320 ㌧

労働問題、契約トラブル、いじめ問題…。さまざまなリスクと隣り合わせの高齢の親と子どもを持つ 30~50 代の人に向けて、家族がトラブルに遭わないよう、また遭遇してしまった場合、法的にどうすればよいかを解説する。

『「いまどきの若者」の 150 年史』

パンス/筑摩書房/367.6 ㌧

年長者からの視点と若者自身の主張が交錯し、時代の中で特徴づけられる「世代」。明治の書生から令和の Z 世代まで「若者論」の系譜をたどり、成熟をめぐる日本の「現在」を浮かび上がらせる。「日本の若者年表」も収録。

『宇宙の秘密ひらめき図鑑』

中野太郎/ナツメ社/440 ㌧

遠い人類の先祖が抱いた宇宙観から観測技術の発達、現代宇宙論に至るまで。宇宙の歴史を古代から順になぞっていき、人と宇宙が歩んできた道のりと、その過程で生まれたさまざまな「ひらめき」をイラストを交えて解説する。

『ハリネズミ大全』

パット・モリス/築地書館/489.4 ㌧

都会が拡大して自然が縮小していく時代に、ヒトの近くで生きることを選んだ野生動物・ハリネズミ。食事、おでかけ、繁殖、冬眠、寿命から民話での描かれ方まで、魅惑のハリネズミワールドをイラスト付きで紹介。

『境界知能の人たち』

古荘純一/講談社/493.9 ㌧

境界知能の人は、学校や就労、社会生活において、学習、対人関係、自己管理の困難や生きづらさをかかえていることが少なくない。当事者を見てきた医師が、現状から事例、支援策まで、全体像をわかりやすく解説する。

『二十四節気の料理教室』

石原洋子/主婦と生活社/596 ㌧

ほたるいかと春キャベツの Pasta、ちりめん山椒、おはぎ、ぶりのみそ漬焼き…。料理研究家・石原洋子が、二十四節気に沿った旬の食材の扱い方や毎年家族に作る料理、受け継いでいきたい手仕事の数々を紹介する。

『ねんきんごはん』

小林まさみ/内外出版社/596 ㌧

気力が落ちたり、食事内容が気になったり、何かと悩みが多い年金世代のごはん問題。マンネリ気分が解消できるレシピや、健康づくりに役立つ調理術、定番安食材と野菜の使いきりに焦点を当てたおかず作りのヒントを紹介する。

『はじめてのぬか漬けレッスン』

市川菜緒子/山と溪谷社/596.3 ㌧

旬の野菜が発酵の力で驚くほどおいしくなる! SNS で注目の糠漬けアーティストが、ぬか床の仕込みから野菜別の漬け方、日々のお手入れまでを徹底解説。古漬け&ぬか漬け活用レシピ、ぬか漬け Q&A も収録。

『飼い鳥困りごと解決事典』

細川博昭/誠文堂新光社/646.8 ㌧

とまり木に上がれない、窓ガラスや鏡に激突した、自身の羽毛を自分で抜いてしまう…。鳥の飼い主に向け、鳥との暮らしにおいて困ったことが起きたときにできること、動物病院に行くにあたって知っておきたいことを紹介する。

『食べられる野草』

長野修平[監修]/成美堂出版/657.8 ㌧

タンポポ、ノビルなどの摘み菜から、フキノトウやワラビなどの山菜まで、食べられる草花の見分け方を紹介。野草の味わいを最大限に引き出すおいしい調理法、誤食しやすい有毒植物なども掲載する。

『磁器づくり入門』

奥絢子/誠文堂新光社/751 ㌧

土の練り方からはじまり、材料、成形、絵付け、焼成まで、数々の作品を通して、磁器づくりのきほんをていねいに解説。練りや造形の加工、着色など、細かな技法も豊富な写真とともに紹介する。『陶工房』連載を再構成。

『登山ボディ』

芳須勲[監修]/山と溪谷社/786.1 ㌧

登山ボディとは、行動体力と防衛体力をそなえた体のこと。登山ボディをつくるトレーニングや山の歩き方を紹介するほか、体のメンテナンスや栄養管理についても解説。

『ことばを学ぶとはどういうことか』

松田真希子/筑摩書房/807 ㌧

ネイティブみたいに話せなくて大丈夫! ことばは硬直したものではなく、流動的で柔らかく、世界の見え方を歪め解放もする存在である。学習者が自由に、幸せに学び、より豊かな世界をつくるための方法論を探る。

『ほんとうのことを書く練習』

土門蘭/ダイヤモンド社/816 ㌧

どうすれば、自分の中にある「ほんとうのこと」を掴み、言葉にできるか。そして、どうすればそれを他者に伝えることができるか。文筆家・土門蘭が、自己肯定感と文章力が同時に上がる文章術を紹介する。

『遅咲きというしあわせ』

下重暁子/徳間書店/914.6 ㌧

人生百年時代、長寿が増えれば遅咲きの人生も増える。人生を一步一步慌てずに自分の花を咲かせましょう。いくつになってもあなただけの花は開く。人生後半の生き方が変わる、下重暁子のエッセイ。

『人生は選択でできている』

猫沢エミ/KADOKAWA/914.6 ㌧

自分の人生を「つまらない」と感じたら、選択を変えればいい。そうすれば、何歳からでも面白い人生になっていく…。パリ在住の猫沢エミが、これまで歩いてきた道のりと、人生を豊かに生きるヒントを綴る。

『血塗られた指輪』

キンバリー・ベル/早川書房/933 ㌧

ステラは夫アダムと訪れたパリで爆発事件に巻き込まれ、夫は死体すら見つからなかった。だが警察によると爆発は盗難美術品の売人だったアダムを狙ったもので、彼は生きていたという。夫の本心を知るため、彼の行方を追うが…。

『豆は煮えたか』

朝井まかて/文藝春秋/F ㌧

お玉は、深川の水茶屋ささげやの女主人。亭主を亡くしてから名物豆餅の味は下がり閉古鳥が鳴く毎日だが、お玉には裏の稼業がある。掌を合わせると、少し先の未来が見えて…。占い×時代小説。『オール讀物』掲載を加筆修正。

『戦う白衣の天使』

櫻庭由紀子/内外出版社/F ㌧

時は明治、医療の分野がまだ男性のものとしていた時代。大関和、鈴木雅は当時蔑みの対象だった“看護婦”という仕事に身を投じる。差別・偏見・ハラスメント。明治の逆風に抗い、現代看護の礎を築いた 2 人の女性の物語。

『すべてが円くなるように』

原田マハ/幻冬舎/F ㌧

展覧会を一目見ることができたら、フェルメールに捧げる物語を書くこと決め、作家の私はアムステルダムへ向かい…。真珠がつながる人生と夢を描く短編集。『小説幻冬』掲載を単行本化。

図書館のホームページで蔵書検索や本の予約ができます。

また、登録された方にはメールで新着本をお知らせする「新着案内メール」を配信しています。

※メールアドレスを変更された場合はご自身でホームページより変更手続きをお願いします。

